

「ふくい新時代」を拓く予算が成立

2月定例県議会において、令和7年度当初予算(5,017億円)・令和6年度2月補正予算が成立しました。

北陸新幹線福井・敦賀開業が実現し、来県者が増え、民間投資も拡大しました。

また、まちや人の流れだけでなく、県民の意識も変化しました。

開業2年目、福井県のさらなるステージアップを目指します。



杉本 達治 知事

次世代にも選ばれる福井の実現

若者の県内定着促進

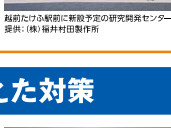
- 県立大学恐竜学部「勝山キャンパス」の新学部棟や教育研究用の備品を整備(令和8年度供用)
- 県立大学地域政策学部(仮称)「福井まちなかキャンパス」を整備するため、詳細設計を実施(AOSSAの一部を活用し令和9年度供用)
- 地域の核となる魅力的な学校づくりを支援
 - ・OBやOGを招いた交流会を開催
 - ・地元企業で活躍している先輩社会人を招いた職業発見講座を開催 など
- 福井県大学進学サポートセンターに「県内大学進学コース」を設置
- 工学部系の県内大学等に、県内への就職促進を行う専門の教職員を配置する取組みを支援
- 県内大学等の進学者の家賃(一人暮らし)や交通費(公共交通機関)を支援(3千円～1万円/月)
- 「ふくアプリ」を活用し、進学・就職後も福井県の情報に触れるプラットフォームを構築



県立大学勝山キャンパス(イメージ)



地域の将来像等考える講座



県内大学進学サポートセンター提供(後)福井県制作所

魅力ある仕事の創出

- 県内ベンチャー企業の創業・成長や若手起業家の創出・育成を強化
- 都市圏並みの給与水準を要件に、研究開発や本社機能の拡張などの投資を支援(半導体製造等の大型投資に対して全国トップの最大120億円を交付)

女性活躍・働き方改革

- 家事代行利用モニターキャンペーンや家事診断システムにより家事の省力化・外部化など「ラク家事」を促進
- 企業の女性活躍を推進
 - ・女性活躍推進コンシェルジュが企業に対し伴走支援
 - ・県内製造業者が行う女性活躍を推進する取組みを支援



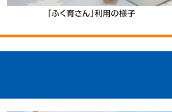
家事代行サービス利用の様子



福井県と株式会社タプルとの協業により結婚支援に関する連携協定締結式



志業および結婚支援に関する連携協定を締結



「ふく育さん」利用の様子

結婚・出産・子育て応援

- マッチングアプリ運営会社と連携し、若者が出会いや結婚に向けて行動できる環境づくりを実施
- 不妊治療の助成や相談窓口の設置など、将来の妊娠のための健康管理を支援
- ひとり親家庭や多胎児、医療的ケア児等を育てる家庭を対象に、家事育児をサポートする「ふく育さん」等の利用券を発行
- 訪問型シッターサービスを利用した際の料金への助成を拡充し、「ふく育さん」等の利用者負担を軽減
 - 〔訪問型シッターサービス(ふく育さん等)の利用者負担額 500円/時間〕

- 保育所等の主食(ごはん)提供を推進するために必要な備品購入等を支援
- コーディネーターの配置など、ヤングケアラーの生活や進学等に関する相談を支援
- ひとり親家庭等の習い事や大学受験料等を支援

開業1年後の現状を踏まえた対策

開業効果の県内全域への波及

- 敦賀・若狭エリアのブランド力向上
 - ・観光投資促進コーディネーターを配置
 - ・夕日スポットを整備する基本構想の策定
 - ・豪雨在住のインフルエンサーによるPRを実施
 - ・敦賀・若狭エリアに宿泊する観光客が、宿の魅力をSNSで発信するキャンペーンを実施
- コンセプトルームなどの魅力的な宿泊施設の整備を支援
- DMO(観光地域づくり法人)が主体となり、地域の観光を担うプレイヤーによる観光コンテンツの磨き上げなどを支援
- DMOや観光事業者による確けるツアーガイドの育成や旅行商品の造成を支援
- 飲食店や土産品店などの魅力向上のための店舗改装等を支援(補助率 1/3)



夕日スポット(イメージ)



サイクリストに優しい宿



カフェ改装後の店舗

まちづくり・観光地の磨き上げ

- 歴史のシンボルとなる福井城増城(ひつじえるやぐら)等の復元整備(令和11年度完成予定)
- 県都の将来像を描いた「県都ブランドデザイン」に基づき、まちづくりを推進
 - ・電動カート「ふくトック」の運行を支援
 - ・「浜町ソムリエ」が行う浜町の魅力発信を支援



増城の復元(イメージ)

県内への誘客促進

- 外国人観光客に旅行の目的地として選ばれたため、認知度向上と誘客拡大
 - ・海外のオンライン旅行サイトにおける福井県ならではの体験の販売促進
 - ・高輪ゲートウェイ駅や京都駅などの駅観光案内所で旅ナカでのプロモーションを実施
 - ・外部専門家との分析、助言をインバウンド全体の政策立案に活かすとともに、富裕層の誘客を拡大



インバウンド向け特設ブースの様子

令和7年度当初予算については、テレビでも放送します。3/23日 7:00～7:30 FBCテレビ 朝だよ!ハピネスふくい

人手不足克服に向けた対策

各業界における人手不足対策

- 運転士の待遇改善等に取り組む路線バス事業者や新たな代替交通への転換に取り組む市町等を支援
- 医療人材の確保にかかる支援を強化
 - ・福井大学医学部の地域枠を拡充(令和8年度～10人～15人)
 - ・看護師養成所が行う学生確保の取組みを支援など
- 副業・兼業人材を新たに活用する県内企業を支援
- 県内企業の採用力向上にかかる支援を強化
 - ・ワークショップや中途人材との面談会の開催など



運転士協会の様子



採用力強化ワークショップ

外国人人材の受入強化

- 「ふくい外国人相談センター」の機能を強化
 - ・相談から解決まで外国人に寄り添う「総合支援コーディネーター」を配置
 - ・外国人コミュニティグループ等を通じた情報発信
- 外国人人材の受入環境整備・育成
 - ・外国人材を送り出すインドネシア農業省と連携
 - ・農業者が行う就業・生活環境整備を支援
 - ・現地の外国人材を対象とした障がい福祉分野の基礎的研修を実施
 - ・障がい福祉事務所等働く外国人材を対象とした技術向上研修を実施など



外国人窓口での相談の様子



県内農家のもとで働く外国人

長期ビジョンの推進

子どもが主役の「夢と希望」、 「ふくい愛」を育む教育の推進

- 県立図書館に電子書籍を導入し、生涯にわたる学びの拠点の機能を充実
- 不登校の兆しが見え始めた児童生徒等を対象とした、校内サポートルームの支援員の配置・設置校を拡充
- 疫病的な休日の部活動の地域移行に向け、広域的な課題を調整するコーディネーターを配置



電子書籍を読む様子



マタニティイベントの様子

多様な個性や能力を育み、 活かす共生社会の実現

- 福井の若者の活動を応援
 - ・若者と応援者をつなぐマッチングイベントを実施
 - ・学生が提案する新しいチャレンジを支援
- 県立夜間中学校(若杉中学校)の開校に向けて校舎を改修(令和8年4月開校予定)

稼げる農林水産業で 農山漁村の活性化

- 「第二ふくい園芸カレッジ(仮称)」を整備、
「園芸LABOの丘」の機能を強化
- 福井県沿岸に出没するイルカによる海水浴客への被害を防止
 - ・リアルタイム監視システムの開発
 - ・対策を実施する市町への支援



第二ふくい園芸カレッジ(仮称)の研修棟ハウス(イメージ)



園地改修機(イメージ)

交流を広げる基盤整備

- 携帯電話等の電波がとぎやらない北陸トンネル等(ハビラインふくい線)における対策工事を支援
- J-R敦賀駅改札内へのICカード用乗継改札機の設置を支援
- 敦賀港で現在分散している貨物を集約し荷役の効率化を図るため、照明設備やフェンス新設などの整備を実施



アートプロジェクト

文化芸術・スポーツ力の強化

- 「ふくい文化創造センター(仮称)」を開設
 - ・専門スタッフを配置し、文化団体に対する相談機能を強化
 - ・文化団体が取り組むアートプロジェクトに助成金を支給 など
- 抱い手不足により保存・継承が危惧される地域の伝統行事の活性化や観光への活用等を支援
- 県立美術館・歴史博物館の機能強化に向けた基本計画等を策定
- 県民応援チーム「FUKUI RAYS」のホーム戦を県民とともに盛り上げ、愛されるチームづくりを応援



地域の伝統行事を応援

人生100年時代の 充実生活応援

- シニアグループの居場所づくりや生きがいづくりのため、活動の応援やシニア応援文化祭を開催(シニアグループ活動 上限 10～20万円/団体)
- 県民の歩く習慣を定着させるため、歩数目標の達成に応じて、はびコインを進呈する「はびウォーク2025」を開催



シニアグループの活動

誰も取り残されない安心の 医療・介護・福祉の充実

- へき地等における医療MaaS(移動車両によるオンライン診療)導入に向け、検討会や展示会を実施
- 医療的ケアが必要な重症心身障がい者のグループホームの整備、運営を支援

整備支援	〔補助率〕3/4
運営費支援	〔補助率〕定額



移動車両によるオンライン診療

豊かで美しいふくいの 環境の継承

- クリアランス集中処理事業を行う新会社を敦賀市に設立するとともに、地元企業の参入が必要となる人材育成研修を実施
- 11年ぶりとなる新たな年輪捌削にあわせて捌削・研究現場の公開や展示の充実等により、年輪博物館の魅力を向上



年輪捌削の様子(2014年)

防災・治安先進県 ふくいの実現

- 避難所における生活環境の向上や震災直後の迅速な支援に必要な資機材等を整備
- 空き家の発生予防や流通活用のため、空き家対策支援アドバイザーを派遣
- 空家等管理活用支援法人と連携する市町を支援



避難所の環境整備(イメージ)

「チームふくい」の行政運営

- 県民の幸福実感を高めるため、官民共創によるウェルビーイング向上のためのプロジェクトを推進
- デジタル技術を活用して、必要なサービスを事前に提供するフッشین型行政を推進
 - ・個人の属性やニーズに応じて県・市町の情報を発信する仕組みの導入を検討
 - ・県と市町、事業者で構成する協議会を設立



官民共創によるプロジェクトの企画